

平成 26 年 7 月 1 日  
防 衛 省

## 「防衛施設整備コスト構造改善」（平成 24 年度）結果報告について

防衛省では平成 20 年度から、これまでのコスト縮減の取組に加えて、コストと品質の両面を重視した「防衛施設整備コスト構造改善プログラム」（以下「プログラム」という。）を策定し、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 年間で、平成 19 年度と比較して、15%の総合コスト改善率を達成することを目標としています。

コスト構造改善の数値目標として、これまでの評価項目である①工事コストの縮減、②事業のスピードアップによる効果の早期発現、③将来の維持管理費の縮減に加え、④民間企業の技術革新によるコスト構造の改善、⑤施設の長寿命化によるライフサイクルコスト構造の改善、⑥環境負荷の低減効果等の社会的コスト構造の改善を評価する「総合コスト改善率」を設定し、平成 20 年度から 5 年間で、平成 19 年度と比較して、15%の「総合コスト改善率」を達成することとしております。

プログラムでは、「実施状況については、具体的施策の着実な推進を図る観点から、政府プログラムのフォローアップと歩調を合わせつつ、適切にフォローアップし、その結果を公表する。」こととしており、今回、平成 24 年度の実施状況を取りまとめました。

平成 24 年度については、平成 19 年度の標準的な公共事業コストと比較した総合コスト改善率は 15.2%となります。

今後も、コストの縮減を推進して参ります。

（参考）平成 20 年度～平成 24 年度の総合コスト改善率の推移

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
総合コスト改善率	1.2%	5.8%	8.1%	12.2%	15.2%